

事業所における自己評価（児童発達支援）結果

NPO法人 ころも・コミュニケーションの発達支援 まいすてっぷKids

職員10名 回収10名 回収率 100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	曜日やその時間帯によりスペースの工夫、空間の工夫は必要
	② 職員の配置数は適切であるか	9	1	
	③ 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1	<ul style="list-style-type: none"> ・構造的な問題（階段・ドアが多い等）はある中、視覚的に伝える工夫はしている ・衝立やパーテーションでの仕切りをしている ・玄関に段差あり
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	10	0	空調整理が必要な場合もある
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	9	1	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	10	0	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価の予定はない ・外部評価については、把握できていない
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	10	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	まだ具体的な内容はなし
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的	7	2	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	10	0	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	10	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	・スタッフ全員で活動の内容を共有し、支援に入る ・さらに徹底したいところではある ・グループ支援には入っていないので分からない
	⑱	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	9	1	・スタッフ全員で活動のふりかえりを行い、次の支援に活かせるようにしている ・さらに徹底したいところである
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性の判断をしているか	10	0	6ヵ月をめぐりに定期的に行っている	

関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援が行われているか	9	1	時に応じて実施
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	10	・重症心身障害児の子どもがいない ・保護者さんを介してかかりつけ医等での診断や考察を聞くことはあるが、直接は連携できていないと思う。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等を連絡体制を整えているか	0	10	対象児がいない
	㉔	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	
	㉕	移行支援として小学校や特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	6	4	・相互理解を図るための努力はしているが難しい ・機会があれば、相互理解、情報共有したいと思う ・情報提供書等作成している
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	10	・日々の活動で精一杯 ・機会は設けていない
	㉘	(自立支援)協議会や子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	4	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	0	・さらに深めていきたいところである ・十分とは言えない
㉚	保護者の対応能力の向上を図るため保護者に対して等) 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	0	CAREプログラム研修会	

保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	
	③③	児童発達支援計画には、児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得て定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援を行っているか	10	0	
	③④	父母の会の活動やの支援したり、保護者会等の開催する等により保護者同士の連携が支援しているか	0	10	・父母の会の活動は特はない ・送迎や待ち時間、子どもと同じ活動の中では、連携を取りやすい場づくりを心掛けている
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	十分ではないので、さらに対応していきたい
	③⑥	定期的に広報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	10	0	
	③⑧	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	10	特にそのような活動はない
	③⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか	10		
	非常時 党 委 の 対 応	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練を行っているか	7	3
④②		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9	1	
④③		食物アレルギーのある子ども、医師指示書に基づく対応がされているか	2	8	・保護者への聞き取りのみ ・医師の指示所はないが、飲食の際は保護者に必ず連絡をする
④④		ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	8	2	
④⑤		虐待を防止するため、職員の研修を確保する、適切な対応をしているか	9	1	
④⑥		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	9	1	
④⑦					